



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

教育委員会だより No.98

2019.9.20



愛村心（！尊心）を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

たくさんの学びと出会い ～ サマースクールてんえい ～



例年は夏休みの初めに村内全ての6年生を対象に行っていた「サマースクール」ですが、今年度は8月23日（金）に、5年生と6年生を対象として実施しました。

初めての実施となる5年生は、プリティッシュヒルズでの異文化体験学習と湯本地区の歴史と自然の学習を行いました。プリティッシュヒルズでは、外国の方と館内を巡りながら英会話を楽しみました。その後、湯本塾の方を講師としてお招きし、湯本温泉や湯本小学校の周りを散策しながら、湯本地区の歴史や自然の豊かさに触れることができました。予定していた「大槻のひらなめ」での川遊びは、増水のため実施できませんでしたが、今まで湯本地区を訪れたことのない児童も多く、興味をもちながら学ぶ姿が印象的でした。また、**実際に目で見たり、手で触れたり香りを嗅いだりする直接体験の大切さを実感**することができました。

6年生は、天栄中学校で国語や算数、外国語、体育の学習をしたり、中学生から中学校生活の様子や中学校入学までの心構えなどの話を聞いたりしました。また、天栄中学校の施設や中学生の授業、部活動の様子を見学することもできました。中学校での学習や部活動の様子を見ることで、不安を解消するとともに、夢や希望をもつことができた6年生。これらの学習や体験は、**中1ギャップと呼ばれる問題の解決にも役立つ**ことと思います。

5・6年生ともに、新しい他校の友だちができたり、新たな発見をしたりと、有意義な1日となったようです。今後の各校での学びに生かして行ってほしいと思います。

天栄村の教育研究の成果発表「つなぐ教育研究公開」開催！

9月13日（金）に天栄中学校を会場として、「つなぐ教育研究公開」を開催しました。今年度は、**広戸小学校6年生の外国語、牧本小学校6年の算数、天栄中学校2年生の数学、3年生の英語**の授業を公開し、村内外から約70名の教育関係者の方々が天栄の子どもたちの学び合う姿と工夫ある授業の様子を参観しました。

授業を公開した後は、事後研究会が行われ、授業で見せた実際の学びの姿を基に、教師のかかわりや見取りなどの様々な視点から、授業改善に向けての熱のこもった協議が展開されました。

最後には、福島大学人間発達文化学類准教授：坂本篤史先生による「主体的・対話的で深い学びとは～子どもの学びを見取るために～」と題した講演があり、子ども自らが学びの高まりを実感していくための教師のかかわりについて、具体的な授業場面を写真で紹介しながら、授業に臨む際に大切にしたい教師の姿勢や視点について貴重なお話を伺うことができました。



ALT が寄り添い安心して学ぶ姿



互いに教え学び合う授業風景



子どもの姿を基にした坂本先生の講演



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援できるよう取り組んでいます

○第34回羽鳥湖畔マラソン大会

9月8日（日）第34回羽鳥湖畔マラソン大会が行われ、全27部門で親子の部を含む684名の選手が、初秋の高原を駆け抜けました。当日は暑いくらいの晴天の下、各レースが行われました。今回も大会新記録を出す選手もおり、羽鳥湖畔マラソン大会に新たな歴史が刻まれました。



○家庭劇場

9月6日（金）村幼稚園ですぎの子芸術文化振興会の人形劇「ももたろう」が、また、9月12日（木）には、天栄村体育館で村内小学校1年生から4年生を対象に劇団風の子による「風の少年シナド」が上演されました。荒々しい自然を相手に、子どもがまっすぐに考え、悩み、走り、38億年続く命のつながりを取り戻す物語に子どもたちは誰もが真剣な中に笑いもあり、楽しんでいました。

